

Release Identification: LTC6702

2007.09.26

リニアテクノロジー、新製品「LTC6702」を販売開始

消費電流 60 μ A、2V 未満の電圧で動作する小型 3.2MHz デュアル・マイクロパワー・コンパレータ

2007 年 9 月 26 日 - リニアテクノロジーは、2mm×2mm DFN パッケージの高速マイクロパワー・デュアル・コンパレータ「LTC6702」の販売を開始しました。LTC6702 は、SOT-23 および 2mm×2mm DFN パッケージで供給され、1,000 個時の参考単価は 120 円(税込み)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。

LTC6702 は最低 1.7V で動作し、最大消費電流が 60 μ A 以下なので、バッテリ駆動の携帯機器に最適です。グランドを 100mV 下回る入力同相範囲により、低電圧動作が可能です。低消費電力であるにもかかわらず、LTC6702 は 3.2MHz のトグルレートでスイッチ可能で、500ns 以下の伝播遅延が保証されています。

LTC6702 は入力バイアス電流が標準 1pA で、オフセット電圧が 3.5mV 以下であることが保証されており、優れた精度を達成します。コンパレータ・ヒステリシスを備え、-40℃~125℃で仕様が保証されているので、電気的ノイズが高い環境や高温環境で信頼できる動作が可能です。また、LTC6702 は±15mA の堅牢な出力ドライブを搭載し、最大 10,000pF の容量性負荷をドライブ可能です。

リニアテクノロジーのデザイン・マネージャである Brendan Whelan は、「LTC6702 は速度、消費電力、サイズ、出力ドライブを見事に組み合わせています。このデバイスの汎用性は、低電圧のバッテリ駆動電子機器に最適です」とコメントしています。

LTC6702 の特長

- 低電源動作:1.7V~5.5V
- 低消費電流:30 µ A/コンパレータ(最大)
- 伝播遅延:500ns(最大、-40°C~125°C)
- トグル周波数: 3.2MHz
- グランドを 100mV 下回る入力電圧範囲
- 内部ヒステリシス:4mV
- 高出カドライブ: TTL および CMOS 互換 ±15mA で規定(-40℃~125℃)
 10,000pF までの容量性負荷をドライブ

- -40°C~125°Cの温度範囲で規定
- SOT-23 および 2mm×2mm DFN パッケージ

フォトキャプション: デュアル 3.2MHz マイクロパワー・コンパレータ

Copyright: 2007 Linear Technology

以上